

成田市議会だより



成田市観光
キャラクター うつみくん

平成23年 6月定例会

主な内容

常任委員会	3
議案と審議結果一覧	5
特別委員会	6
一般質問	8
全国市議会議長会表彰	14
コーヒータイム	14



久住パークゴルフ場

6月1日オープン。子どもからシニアまで、幅広い年代層が楽しんでいます。
Bランの発着便が頭上を通過する、飛行機好きにもうれしいコースです。

6月

定例会の
あらまし

18議案を可決・同意

公津の杜小学校校舎増築工事請負契約 の締結や一般会計補正予算など

平成23年6月定例会は、6月10日に招集され6月30日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、14議案が上程されました。

14日には、新たに空港対策、医療問題、地域防災の3つの特別委員会が設置されました。

一般質問は、14日から4日間、19人の議員が登壇して行われ、17日には議案5件を同意しました。20日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案9件と発議案4件を原案どおり可決しました。請願については、3件を採択、1件を趣旨採択、また1件を不採択とし、閉会しました。

6月定例会の日程

月 日

内 容

6月10日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
14日(火)	本会議(一般質問)
15日(水)	本会議(一般質問)
16日(木)	本会議(一般質問)
17日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
20日(月)	建設水道常任委員会、経済環境常任委員会
21日(火)	教育民生常任委員会
22日(水)	地域防災特別委員会、医療問題特別委員会
23日(木)	空港対策特別委員会
24日(金)	総務常任委員会
30日(木)	本会議(会議録署名議員指名、議案審議、閉会)



常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

付託された議案4件を審査し、可決しました。
所管事務について1件の報告を受けました。

▼防災行政無線固定系更新工事（その3）請負契約の締結

[内 容] 下総・大栄地区への屋外拡声子局54局及び電波を変換するためのインターフェース装置の整備工事の契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

[主な質疑] **問** 戸別受信機への対応には問題はないのか。

答 戸別受信機はアナログ波だが、インターフェース装置でデジタル波をアナログ波に変換して送信するので問題はない。

▼平成23年度成田市一般会計補正予算（第1号）

[内 容] かけ地整備費補助事業や災害復興支援事業等を実施し、また、東日本大震災により被災した公共施設の復旧を図るため、歳入歳出それぞれ6,683万5千円の増額補正を行うとともに、住宅等災害復興資金の利子補給について債務負担行為^{注1}の追加を行うもの。

[主な質疑] **問** かけ地整備費補助事業は、仲町のがけ地の2次災害を防止するためとのことだが、急傾斜地崩壊対策事業の対象だったのか。

答 対象ではあったが申請されていなかったため、今回、緊急にかけ地整備費補助事業で対応するものである。

^{注1} 将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと。

教育民生 常任委員会

▼成田市立公津の杜小学校校舎増築工事（建築工事）請負契約の締結

[内 容] 公津の杜小学校学区内の更なる児童数の増加が見込まれているため、普通教室10教室、少人数教室3教室及び多目的室等の増築工事の契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

[主な質疑] **問** 校舎を増築するとのことだが、今後の対応は大丈夫なのか。

答 現在、21学級で仮設校舎4教室を使って対応している。平成29年度では25学級を見込んでおり、今回、10教室を増築することから将来見込みにも対応できると考えている。

付託された議案4件と請願3件を審査し、議案のすべてを可決し、請願2件を採択、請願1件を不採択としました。他に陳情1件を不採択としました。
所管事務について4件の報告を受けました。



▲校舎増築が予定されている公津の杜小学校

▼「国における平成24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

[主な意見] ● 親の経済力の格差が子どもの教育に反映しているとの調査もあるが、子どもたちが平等に自分の力を発揮できる環境をつくっていくためには、教育予算を拡充して格差を是正していく必要があるとの思いから本請願に賛成する。

経済環境 常任委員会

付託された請願2件を審査し、採択並びに趣旨採択しました。

所管事務について4件の報告を受けました。

▼地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願書

[主な意見] ● 消費者の購買の形も多様化する中で、トラブルも増え、また、悪質な業者もあり、その手口も巧妙化しているため、相談員の専門性がより求められていると思われる。そうした中で、相談員の地位と待遇を改善するために、国に対して実効的な支援や、制度の整備などを求める本請願に賛成する。

▼原子力発電に頼るエネルギー政策の転換と福島第一原発事故による被害者等への対応について意見書提出を求める請願書

[主な意見] ● 原子力発電に頼っている現在のエネルギー政策から、自然エネルギーに転換してほしいとの趣旨には同感だが、請願項目の中には、現在稼働中の原子炉をいったん停止して総点検するなど、現在の電力不足の中で無理ではないかと思われるものも含まれる。請願全てについて採択するのは難しいので、趣旨採択としたい。

▼平成23年度成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

[内 容] 平成22年度からの繰越金を財源として、東日本大震災により被災した下水道施設の復旧を図るため、歳入歳出それぞれ4,500万円の増額補正を行うもの。

[主な質疑] 問 補正額4,500万円で、下水道施設の災害復旧率は100%となるのか。また、工事の完了予定はいつか。

答 現在調査済の被害については、この補正額の中ですべてできていると考えている。一部の工事は、平成23年度いっぱいかかる箇所もあるが、それ以外は早急に復旧したい。

建設水道 常任委員会

付託された議案1件を審査し、可決しました。他に陳情1件を不採択としました。

所管事務について2件の報告を受けました。



国に意見書を提出

6月定例会において、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。提出された意見書は下記のとおりです。

- 地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書
- 東日本大震災からの復旧・復興に関する意見書



議案と審議結果一覧

議案番号	議案名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田		公明党		共産党		市工									
			神島勝	福島浩一	伊橋利保	雨宮真吾	佐久間一彦	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	神崎利一	村崎照等	石渡孝春	平良清忠	宇都宮高明	飯保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	伊藤昌一	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	一山貴志	水上幸彦	大倉重雄	鶴澤治	馬込勝未	足立満智子
◆ 議案																															
1	教育委員会委員の任命 (小川 新太郎)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	固定資産評価審査委員会委員の選任 (滝沢 繁夫)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	固定資産評価審査委員会委員の選任 (藤崎 芳朗)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	固定資産評価審査委員会委員の選任 (江波戸 秀記)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	人権擁護委員の推薦 (田上 さよ子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	成田市税賦課徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	防災行政無線固定系更新工事 (その3) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	成田市立久住小学校校舎大規模改造・増築工事 (建築工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	成田市立公津の杜小学校校舎増築工事 (建築工事) 請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	市有財産の取得 (成田市立下総中学校新設グラウンド整備事業用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	市有財産の取得 (厨房機器 (蒸気回転釜外))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	市有財産の取得 (水槽付消防ポンプ自動車 (Ⅱ型))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	平成23年度成田市一般会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	平成23年度成田市下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 発議案																															
1	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	東日本大震災からの復旧・復興に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 請願																															
3	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	「国における平成24 (2012) 年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	原子力発電に頼るエネルギー政策の転換と福島第一原発事故による被害者等への対応について意見書提出を求める請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席 ※ 議長 (宇都宮 高明) は採決に加わりません。
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

新たに設置された特別委員会の構成

特別委員会



空港対策 (12人)

[設置目的] 空港と共存共栄を図り、市民がよりよい生活を送れるよう、空港に関する諸課題について調査研究等を行う。

委員長 青野 勝行
副委員長 伊橋 利保
委員 神崎 勝 雨宮 真吾 佐久間一彦
小澤 孝一 水上 幸彦 海保 茂喜
伊藤 竹夫 村嶋 照等 上田 信博
海保 貞夫

医療問題 (9人)

[設置目的] 市民が安心して暮らせる医療の確保、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制のあり方について調査研究を行う。

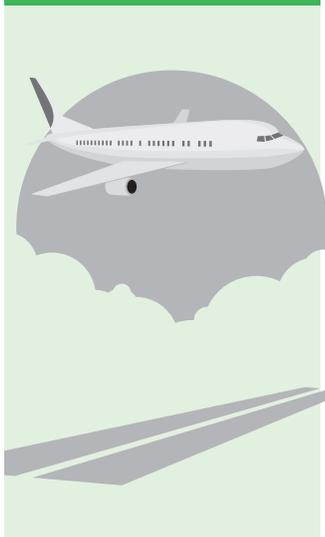
委員長 大倉富重雄
副委員長 秋山 忍
委員 伊藤 昌一 小山 昭 荒木 博
足立満智子 馬込 勝未 石渡 孝春
宇都宮高明

地域防災 (9人)

[設置目的] 災害から市民を守るため、災害に強いまちづくり、的確で迅速な対応ができる体制整備について調査研究を行う。

委員長 平良 清忠
副委員長 鵜澤 治
委員 會津 素子 飯島 照明 一山 貴志
福島 浩一 湯浅 雅明 神崎 利一
油田 清

空港対策 特別委員会



●航空機からの落下物

平成23年4月6日に、荒海地区の農業用ビニールハウス内で、長さ約18センチメートル、直径約5センチメートル、重さ470グラムの落下物が発見され、その後の調査で、ユナイテッド航空機の着陸装置主脚部分の一部を固定するバネであったことが判明したとのことでした。

航空機からの落下物は、人命に関わる非常に危険な事故であるため、成田市として、落下物の原因究明と再発防止の申し入れを、国土交通省と空港会社に対して行ったとのことでした。

[主な質疑] 問 空港南側から着陸する場合は、洋上脚下げ^{注)2}により落下物も解消されてきたようだが、北側から着陸する際の対策はあるのか。

答 国土交通省が検討していくと思うが、落下物問題への対応については説明を求めてく。

注)2 航空機が着陸のために海上で脚下げを行うこと。

●成田空港B滑走路北側迷惑駐車対策

十余三地区の市道における航空写真マニアによる迷惑駐車対策として、十余三地区防音堤のフェンスを写真撮影がしやすいよう改修するとともに、市道沿いの空港会社所有地に、注意喚起及び車両誘導の看板を設置するとのことでした。

医療問題 特別委員会



●平成22年度成田市救急医療体制整備事業負担金

関係市町に対して、成田赤十字病院への救急医療体制整備事業負担金の協力を求める件については、印旛管内の市町で足並みをそろえる段階には至らず、予算措置ができなかったが、今後も協力を要請していくとのことでした。

なお、平成22年度の負担金の実績については、1ヶ月平均1,249万2,754円であり、合計で1億4,991万3,051円とのことでした。

●平成22年度成田市急病診療所の利用状況

内科・小児科の受診者数の合計は、1万317人で前年度から127人の減少、外科は421人で前年度から162人の減少、歯科は247人で前年度から8人増となっており、全体では2.5%の減少となっている。

また、成田市の受診者数は、7,136人で、受診者総数の65%であるとのことでした。

[主な意見] ● 年末年始やゴールデンウィークを除くと、歯科の受診者は少ない。今後どうするかも含めて検討してほしい。

地域防災 特別委員会



●東北地方太平洋沖地震報告書

成田市の最大震度は、6弱を観測し、地震による被害状況としては、人的被害が負傷者17名で、うち重症者1名、建物被害は、液状化や敷地被害などによる住家の全壊が4棟、その他、水道、道路、橋梁、農業用施設、学校施設などの被害があったとのことでした。

避難所は、16箇所を開設し、最大1,169名を収容、また、原発事故に伴う避難者の受け入れについては、1次避難所の中台体育館、旧中郷小学校に11世帯延べ38名を、2次避難所の市内ホテルに現在11世帯26名が避難しているとのことでした。

災害対策本部は、地震発生後直ちに市長を本部長として設置され、計21回にわたり対応の協議をしてきたとのことでした。

[主な質疑] 問 住宅の一部損壊に対する成田市としての支援措置はないのか。

答 一部損壊でも金融機関から融資を受けた場合には、利子補給を行い支援する。

●東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊の活動概要等

成田市消防本部は、第7次派遣隊まで、延べ35日間、14部隊、42人を福島県へ派遣し、転院搬送に係る救急需要の増加への対応や救急救命士による在宅療養者の訪問診療の補助業務、また、南相馬消防署に移動配置しての救急出動対応など、被災地への支援に貢献したとのことでした。

震災に伴う成田市消防本部の対応については、震災発生直後から警防活動本部を設置し対応を図ってきたが、火災出動はなく、地震に関係する救急車の出動は19件、119番の入電件数は発災当日は通常より多く、日を追うごとに平均の件数になってきたとのことでした。

一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

1. 断水が発生した場合の給水方法と防災井戸

上田信博 議員



▲防災備蓄倉庫

問 東日本大震災級の災害が成田市を襲い、生活に欠かせない水が断水となった場合、市民及び防災拠点への給水は確保できる体制になっているか。また、停電時でも自家発電によって地下水をくみ上げる防災井戸の設置状況は、現在の人口規模や人口分布に沿って行われているか。さらに新たな防災井戸の設置予定はあるか。

答 大規模な災害が発生した場合、まず道路等の応急復旧などを早急を実施し、運搬ルートを確認した上で、給水車両による給水を行うとともに、各地域の防災井戸から

の直接給水も合わせて実施する。また、防災井戸は、成田市内17カ所に設置しているが、新たな防災井戸の設置については、今後防災計画の見直しなどの中で検討していく。さらに、災害時に防災井戸による給水が迅速に実施できるよう使用方法などを徹底するとともに、成田市の備蓄品としてペットボトルの飲料水を加えることも検討していく。

その他の質問

- ◆高濃度の放射線が測定された場合の対応
- ◆防災無線の活用状況と性能
- ◆防災備蓄倉庫の管理と備蓄品

2. 震災による空港関連税収への影響

雨宮真吾 議員



問 震災により、当初予算で見込んだ空港関連税収の中で、法人市民税の減収が見込まれると思うが影響はどの程度か。また、30万回容量拡大の合意条件として約束した新たな騒音対策は、財源として発着回数の増加によって交付される空港周辺対策交付金を充てる予定だったはずであるが、航空機の減便により、空港周辺対策交付金への影響はどうなっているのか。

答 震災による税収への影響は、概算だが法人市民税で2億数千円の見込みである。また、航空機発着回数が国際線において前

年度比12%強の減が見込まれており、平成23年度の空港周辺対策交付金は、当初予算から4%程度の減額が予想されているが、新たな騒音直下対策は、容量拡大における地域との約束事項であり、最優先で対応すべきものと考えている。なお、空港周辺対策交付金は将来的には増加傾向に転じるものと考えている。

その他の質問

- ◆成田市災害対策本部のあり方
- ◆成田市地域防災計画の見直し
- ◆防災・減災に向けた今後の取り組み

3. 福祉避難所の必要性

青野勝行 議員



問 東日本大震災では、災害弱者である障がい者や高齢者、妊婦などを専門で受け入れる福祉避難所が開設された。避難生活が長期化した場合でも、障がいや疾病のために避難所での生活が困難な人が、安心して避難生活を送ることができる福祉避難所の設置に向け、各自治体が取り組みを進めている。現在、成田市には福祉避難所が設置されていないが、福祉避難所の必要性をどのように考えているか。

答 福祉避難所は要援護者の安全性が確保され、避難生活において必要とされるケアを提供するた

め、耐震構造でバリアフリー化され、物資や機材、人材などが整っていることが前提となる。福祉避難所の指定には、これらの機能を有する社会福祉施設が望ましいと考えている。今後は福祉避難所として利用可能な社会福祉施設の調査、研究を行い、病院などの民間施設へ協定締結などの協力を求め、福祉避難所の整備促進に努めていきたい。

その他の質問

- ◆災害発生時における災害弱者への取り組み
- ◆在宅の障がい者などの安否確認
- ◆災害弱者への復興支援

4. 文部科学省の暫定基準値 3.8マイクロシーベルト

會津素子 議員



▲放射線測定機

問 文部科学省が定めた放射線量の暫定基準値毎時3.8マイクロシーベルト、年間20ミリシーベルトという基準は、福島県教育委員会や関係機関に通知されたものであり、もともとの被ばく基準は年間1ミリシーベルトであったはずである。成田市内で検出された毎時0.38マイクロシーベルトは憂慮すべき数値であり、子どもを放射能から守るために対策を講じる必要があるはずであるが、なぜ福島の暫定基準を成田市に当てはめて問題ないとするのか、その根拠は。

答 日本の基準はより安全

に防護基準が設定されていると認識しており、一般人では年間1ミリシーベルト以内が望ましいものの、上限である年間20ミリシーベルトの基準についても問題がなく、それから算出された福島の屋外活動制限の基準である毎時3.8マイクロシーベルトを成田市の測定結果の評価基準としたものである。

その他の質問

- ◆成田市独自で、食材に含まれる放射性物質の測定を
- ◆東海第二発電所における事故を想定した防災対策
- ◆原発に頼らない社会へ

5. 行財政改革・まちづくり の成果と課題

水上幸彦 議員



問 今議会の初めに、会派として議長に対し、議会改革推進の申し入れをした。議会においては合併後の在任特例時と比べ、議員定数は31人、議会費は約1億4,755万円削減されている。そこで、成田市において合併で期待した行財政改革の進捗状況と、総合5か年計画'06による、生活環境やまちづくりについての成果や今後の課題について伺う。

答 まちづくりや行財政改革の進捗状況を把握している中の一例として、合併後の職員人件費は5年間で20億9,700万円ほどの削減効果が出ている。まちづくりでは、ソ

フト事業でのサービス内容の向上、インフラ整備^{注3}の実施などで、新市の一体化の醸成に向け成果を上げてきた。今後の課題については、市域全体として、または、地域の実情に応じ個別に検討が必要な項目があり、問題解決に努めていきたい。個別に検討を要する項目のうち、排水整備については、降雨時に冠水する箇所などで生活道路や通学路等の緊急性のあるものを優先的に整備していく。

その他の質問

- ◆今後の成田市の交通施策
- ◆こどもの遊び場としての公園整備を

注3 交通、通信、電力、水道、公共施設など社会や産業の基盤とされる施設の整備。

6. 病児・病後児保育 施設増設計画

大倉富重雄 議員



▲なのはなクリニックの病児保育室「ゼフィルス」

問 病児・病後児保育について、今までにも質問を行い、その実現を見守ってきているが、本事業の拡充が今求められている。成田市の総合5か年計画2011には、病児・病後児保育施設が1カ所増設計画となっているが、本来であれば、前期の計画の中で増設が達成したはずである。しかし、増設を達成することができず、先送りされた事業であった。今後、病児・病後児保育施設増設計画にどのように取り組むのか。施設の配置場所はどの地域に必要性があると考えているのか。また、その設置の形態や方針及び運営については直営か委託方式かを伺う。

答 病児・病後児保育施設については、総合5か年計画2011に1カ所の増設を盛り込んでいる。設置場所は保育需要と地域性を考慮し、医療機関と協議しながら検討を進めていきたい。設置形態は、医療機関併設型、設置方針は病児・病後児保育、運営は委託方式で考えている。

その他の質問

- ◆投票所入場整理券の裏面に期日前投票宣誓書を
- ◆ブックスタート事業の検討
- ◆公津の杜地域に郵便局を

7. 情報提供のための防災無線

佐久間一彦 議員



▲震災後開かれた災害対策本部会議

問 成田市では、現在防災無線基地と避難場所は一致していないが、避難場所への情報提供という観点から、防災無線についてどのように考えているのか。また、騒音下地域では住宅が防音化されているため防災無線の放送が聞こえない。さらには、風向きやアンテナの向き、屋外スピーカーからの距離等で放送が聞こえないといった状態の地域もある。このような現状を踏まえて騒音下の防災無線の効果について伺う。

答 屋外拡声子局は、地域への伝達手段として住宅密集地に設置しており、必ずしも避難場所に設置

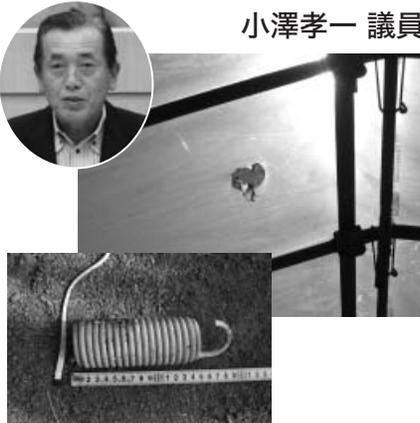
してはいないが、戸別受信機を設置し対応している。また、騒音下地域は、防音工事を実施した住宅が多く、放送が聞こえにくいため、希望者に戸別受信機を無償で貸与している。なお、今回の震災では、放送が聞こえない、内容がわからないなど、市民からの問い合わせが多数寄せられたことから、今後、情報伝達のあり方を総合的に検討していく。

その他の質問

- ◆防災備蓄倉庫の管理
- ◆大規模災害発生時の給水拠点・防災井戸
- ◆避難場所へのルートの確保

8. 荒海地先の落下物事案における成田市の対応

小澤孝一 議員



▲穴の開いたビニールハウスと落下物のバネ

問 4月に荒海地先において農業用ビニールハウスの天井部分に穴が開き、航空機の着陸装置に使用されている重さ約470グラムの金属製バネが落下していたとの報告があった。今回、たまたま無人のビニールハウス内に落下し、人的な被害はなかったが、もしもそこで住民が作業していたら、重大な事故になったのではないかと懸念されている。今回の落下物事案について、国土交通省や成田国際空港株式会社などに対し、成田市はどのような対応をしたのか。

答 航空機からの落下物は、住民の身体、生命や家屋など財産の

安全を脅かすものであり、加えて騒音下住民に大きな不安を与えかねないことから、千葉県とも連携し、国土交通省航空局長に対し、落下物の原因究明と再発防止についての申し入れ書を提出し、成田国際空港株式会社に対しても、成田市単独で同様の申し入れを行った。市民の安心・安全のため、今後も引き続き関係機関が落下物の防止対策に積極的に取り組まれるよう強く働きかけていく。

その他の質問

- ◆大地震に備えた防災対策
- ◆高齢者の緊急避難対策
- ◆学校通学路危険箇所の現状把握

9. 被災者支援システムの現状と今後の課題

一山貴志 議員



問 被災者支援システムとは、あらかじめ住民基本台帳のデータと家屋台帳のデータを統合しておき、そこに震災発生後に調査した住家の被災情報を追加することで完成する被災者台帳をもとに、避難、被災状況などの個人データを一元的に管理するものである。これにより、罹災証明書の発行はもとより、各種支援制度や義援金の交付にも対応し、被災者支援を総合的に管理することができる。成田市においては、このシステムはまだ検討中で、導入には至っていないとのことであるが、平時のうちに構築しておくことが極めて重要だと考えるが見解は。

答 被災者支援システムは、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県西宮市の職員が、被災者支援業務のため開発したものであり、甚大な被害をもたらす災害においては有効であると考えている。成田市で既に導入している防災情報システムや関連システムとの連携などを検証しながら、導入の方法を含めて調査・研究していく。

その他の質問

- ◆防災行政無線のあり方
- ◆放射線量の測定と情報公開
- ◆救急医療体制の拡充

10. 赤坂公園の改造と街路樹の管理



足立満智子 議員



▲赤坂公園内の野外ステージ

問 赤坂公園は成田ニュータウンの中心に位置し、船塚古墳と周辺地形を生かした往時をしのぶ史跡公園として素晴らしい。市民が憩い、遊び、交流できる空間として、活用できるような21世紀の都市公園として有機的に再生できないか。また、街路樹については樹木本来の姿を生かした管理を行い、害虫駆除は有機リン系・ネオニコチノイド系殺虫剤をやめ植物由来の防虫剤の使用を。

答 赤坂公園は開園から25年が経過し、都市公園に対する利用ニーズも変化してきている。誰もが安全で安心して利用できる公園とし

てバリアフリー化など再整備を実施している。当面は日差しがあふれる明るい公園を実現し、遊歩道の改善策や、野外ステージなどの施設利用も、再整備や良好な管理を検討していく。また、街路樹の管理については、樹木の特性を生かし、花や紅葉を楽しめるような剪定を実施しており、平成23年度に住宅地周辺の一部で、樹木の天然成分防虫剤の使用を検討する。

その他の質問

- ◆成田市自治基本条例の制定に向けての進捗状況と課題
- ◆東日本大震災後の成田市の放射能防災の見直しを求める

11. 成田市での放射線対策を



馬込勝未 議員



▲学校での放射線測定の様子

問 放射線は、どんなに低くても発症の可能性はあり、できる限り被ばくは低く抑えるという考えが基本である。求めていた成田市内の学校や保育園での校庭・園庭の放射線量の測定が5月に行われたが、通学路、プール、公園などでの測定も求める。また、年間1ミリシーベルト未満とすることを目標に、学校の校庭などの表土の除去を行うべきではないか。

答 6月には公園と子どもの遊び場の測定を実施した。通学路は対象範囲が広すぎるため無理があるが、プールは十分安全性が保たれ

ており当面問題は無いものと考えている。文部科学省では、校庭・園庭の土壌に関する放射線量低減策を講じる設置者に対し財政的支援を行うとしているが、成田市の調査では、放射線量の最大値でも毎時1マイクロシーベルトを超えた地点は無いため、土壌に関する線量の低減策をとる必要はないものと判断している。

その他の質問

- ◆原発政策、エネルギー政策の転換を求める
- ◆被災者への支援、盛土造成地滑動崩落防止事業
- ◆成田市地域防災計画の見直し

12. アレルギー除去食への取り組み

伊藤竹夫 議員



問 給食施設整備（親子方式^{注4}の導入）により、アレルギー対応がしやすくなるが、学校間の格差が出てくるのが心配される。今後の対応策とスケジュールについて、そして除去食についてどの程度取り組むつもりか。また、学校間の格差解消のために民間委託を併用する考えはあるか。

答 施設整備の整った学校からの対応となるが、新たな施設整備をすべて終えるには長期間を要し、整備する年度によりかなりの開きが出ることから、親子方式を開始する前までに食物アレルギーのある児童

生徒の詳細調査を実施する。最初は、卵、乳の除去食から始め、その後、種類をふやしていき、できるだけ早期に特定原材料7品目を除去できる体制づくりに努めていく。除去食を委託する考えについては、まずはどの学校にどれだけ除去食を必要とする児童生徒がいるのかを把握し、方策の1つとして研究していく。

その他の質問

- ◆高齢化が進む農村地区の農作業環境の整備
- ◆防災無線の現状と課題
- ◆自主防災組織の災害発生時の初動マニュアル

^{注4} 親となる学校で調理した給食を近隣の子となる学校へ配送する方式。

13. 東日本大震災後の防災マニュアル見直し



油田 清 議員



▲「折り鶴平和プロジェクト」による千羽鶴

問 》》 今回の地震は、学校が開校している時間であったが、深夜などに発生した場合、避難所である学校体育館や、防災備蓄倉庫の鍵の管理についてどのように考えているのか。また、保健福祉館はバリアフリーで安全性が高く、障がい者の方々にもやさしいつくりになっており、避難場所として体制を整えておくべきではないか。

答 》》 深夜・早朝に地震が発生した場合に避難所を迅速に開設できるよう、詳細なマニュアルを作成し、まずは避難所近傍に在住する成田市職員を鍵の管理者に指定するなどの

対策を進めていきたい。これまで保健福祉館は、保健福祉に関する災害対応の施設として活用することも想定され、ほかの指定避難所とは区別してきたが、役割を明確にし、防災上の施設の位置付けを明示していきたい。

その他の質問

- ◆地区社会福祉協議会活動支援の状況
- ◆高齢者の社会参加と生きがいくり
- ◆広島・長崎への中学生平和使節団の派遣を求める

14. 水の事故防止対策

村嶋照等 議員



▲公津地区にある清水池

問 》》 今年は特にプールや海水浴等、水に親しむシーズンが来る前に、水の事故が多発している。ゴールデンウィークには海の事故が38件あり、そのうち死亡・行方不明は6人である。昨年の夏、6～8月までの水難事故の発生件数は、残念ながら千葉県が全国1位で46件であった。これから気温が上昇し、市民が水辺に接する機会も増えてくるが、成田市としては、水の事故防止についてどのような取り組みをしているのか。

答 》》 小学校では、全学年児童を対象に、水泳の授業の中で着衣水

泳を実施し、緊急な場面に遭遇しても落ち着いて対応できるよう児童の発達段階に応じて指導している。また、各校で全職員を対象に救急講習会を実施し、心肺蘇生法やAED^{注5}を使用した実技講習を通し、緊急時の対応に備えている。さらに夏季休業などの前に、児童生徒の安全確保について、保護者会などの機会を利用して家庭や地域の協力も呼びかけている。

その他の質問

- ◆防災井戸設置への取り組み

^{注5} 自動体外式除細動器。

15. 騒音による健康への影響と基準の設定

海保茂喜 議員



問 》》 騒音は、大気や水質などとは違い、感覚公害として多くは心理的な影響のみが強調されてきたが、アスベストやダイオキシンなどの有害物質と比較しても、高い死亡リスクを持つ環境因子で、健康への影響に注目した対策や評価が求められている。現在の技術的な水準から言えば、騒音の低減は可能で、普通の会話程度とされる60デシベルを超える騒音にさらされている住民の被害は、社会生活上、受忍すべき限度を超えている。

答 》》 環境基本法において航空機騒音に係る環境基準が定められ

ているが、WHO^{注6}のガイドラインでも、騒音レベルの最大値や単発騒音暴露レベルのような個々に発生する騒音の指標も用いるべきと提案されていることから、住民の体感をも考慮した夜間の睡眠妨害も正しく評価できる方法及び基準値を加えるよう働きかけていきたい。

その他の質問

- ◆航空機の落下物におびえる住民への対策
- ◆JR成田駅東口再開発ビルと景観計画の整合性
- ◆（仮称）土屋駅の設置に向けた関係機関との調整

^{注6} 世界保健機構。保健衛生分野の国連専門機関。

16. ニュータウン内の コミュニティバス 運行経路

小山 昭 議員



▲ニュータウンを走るコミュニティバス

問 》》》 ニュータウン内は、コミュニティバスの停留所が保健福祉館1カ所となっている。高齢化が進み交通弱者が増加する中、ニュータウン内に1カ所しかない状況は理解できない。玉造地区から成田赤十字病院への民間バス路線が廃止になってから相当の年月がたつが、いまだにカバーされていない。コミュニティバスの運行経路を玉造地区まで延伸していただきたい。

答 》》》 コミュニティバスなどの自治体が行うバス事業は、路線バスを補完することを目的としていることから、国土交通省のガイドライ

ンにより、路線バスと実質的に競合しない運行が求められている。民間バス路線のある玉造地区に延伸して運行することは難しい状況にあるが、地域の方々より交通手段の確保について要望が寄せられていることから、玉造地区方面と成田赤十字病院を結ぶ運行経路について、路線バス事業者へ働きかけていく。

その他の質問

- ◆小中学校の屋上への太陽光発電の導入
- ◆中学3年生まで医療費補助受給券の発行
- ◆放射能測定機器の設置

17. 成田湯川駅と（仮称） 土屋駅の周辺土地利用

伊藤昌一 議員



▲成田湯川駅

問 》》》 現在、湯川駅の南側は、市街化区域として計画整備されつつあり、（仮称）土屋駅南側は商業地として整備されているが、成田スカイアクセス沿線北側周辺は、ほとんどが未利用地である。この地域は潜在的開発能力が高いものと考えられるが、成田湯川駅と（仮称）土屋駅を結ぶ周辺地域の土地利用について成田市はどのように考えているか。

答 》》》 成田湯川駅南側と（仮称）土屋駅南側は、市街化区域に編入され、都市的土地利用がなされているが、それ以外の周辺地域は、市街化調整区域で、市街化を抑制すべ

き区域となっている。成田湯川駅周辺の市街化調整区域における将来的な土地利用については、駅の今後の利用状況や道路交通網整備の進捗状況を精査し、土地利用の状況、周辺住民のニーズ及び土地所有者の動向を把握した上で、都市計画基礎調査等を通じて成田市全体の人口・産業等の将来像を描く中で、この地域にふさわしいまちづくりを中・長期的な視野で検討していく。

その他の質問

- ◆災害に強いまちづくり
- ◆災害復旧の担い手
- ◆医科系大学誘致

18. 農業施設の被害状況

福島浩一 議員



▲震災後、農道下の用水管に亀裂が入り漏水で水があふれた水田（所地区）

問 》》》 成田市では大災害において農業施設、農道、かんがい施設への被害はどのくらいあったのか。また、成田市では平成22年度補正予算で農林水産業施設災害復旧費の工事請負費を計上しているが、土地改良区の復旧も含め、今後の農業施設復旧の見通しと予算措置はどのようなになっているのか。

答 》》》 成田市では、農道39路線、排水路19路線、排水機場1カ所、農業集落排水管路6路線、処理場2カ所で被害があった。かんがい施設では、8土地改良区から366カ所の被害報告を受けた。その農業用施設

災害復旧費として、農道、排水路などに4,000万円、農業集落排水施設災害復旧費として700万円を補正予算化し、田植えの農作業前に、緊急性のある箇所を成田市単独で発注し施工した。また、土地改良区施設は、土地改良区での負担が原則であるが、補助については、今後、土地改良区や水利組合、関係市町村と協議していく。

その他の質問

- ◆防災無線の現在の整備状況と今後の整備計画
- ◆農作物から放射性物質検出

19. 75歳からの医療費無料化を

鵜澤 治 議員



問 高齢者医療の現状は、保険料の年金天引き・窓口負担など負担能力を無視した冷酷極まるもので、まさに姥捨て山制度と言っても過言ではない。東京都日の出町では「これまでの高齢者のご苦労に報いる」という趣旨の温かい心で無料化を実施している。市長は「子どもから高齢者まで、みんなの健康づくりを支援します」と選挙公約している。高齢者の方々の過酷な現状を打開するために、75歳からの医療費無料化の政策決断を。

答 後期高齢者医療制度においては、1カ月の医療費の自己負

担額が一定の限度額を超えた場合に高額療養費の支給や、特別の理由があれば窓口における一部負担金の減免が、また、保険料についても世帯の所得に応じた負担軽減が図られている。国民皆保険を引き継ぐ支え合いの仕組みとされる当該制度に沿っていく。

その他の質問

- ◆原発からの撤退、エネルギー政策の転換
- ◆耐震住宅リフォーム助成で防災のまちづくり
- ◆直売所、給食食材の地産地消で地域農業支援

全国市議会議長会から表彰

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、全国市議会議長会から次の5氏が表彰されました。



青野勝行 議員
《議員在職20年》



足立満智子 議員
《議員在職20年》



鵜澤 治 議員
《議員在職20年》



秋山 忍 議員
《議員在職10年》



堀川 洌 氏
《議員在職10年》

9月定例会は、9月2日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町 760
TEL 0476(20)1570(直通)
FAX 0476(24)0336

成田市議会 | 検索

市議会だより編集委員会より

5月より市議会だより編集委員が新メンバーとなりました。これからも、市民の皆さんに議会を身近に感じていただけるよう、より良い紙面作りに努めてまいります。



伊藤昌一委員、會津素子委員、雨宮真吾委員、飯島照明委員
水上幸彦副委員長、神崎利一委員長

コーヒータイム



今年も夏の太陽の下、成田市でも、水稻や野菜・果実など、たくさんの農産物が実りの季節を迎えようとしています。農家の方々の笑顔があふれる収穫となってほしいものです。

今回、成田市において議会推薦による4人の女性の農業委員が誕生しました。農業従事者の半数は女性です。女性の意見を農業施策へ反映させるためにも、いかに農業委員に女性を登用していくかが今までの課題でしたが、今後は、地域の声も拾いやすくなり、女性ならではの農業振興策のアイデアも生まれることと思います。

現在農業に従事し、地域で頑張っている4人の方々のこれからのご活躍を期待します。

市議会だより編集委員長 神崎 利一

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用しています。

